

第 6 章 総括

第6章 総括

まとめ

本調査研究では、職業訓練における訓練災害の低減に寄与することを目的に、機構施設及び都道府県立校において発生した訓練災害の実態や災害防止のための施策等を調査し、併せて、開発した安全教育用教材の有用性を検証した。

都道府県立校に実施したアンケート調査「職業訓練における訓練災害の現状調査」では、令和4年度において訓練災害が発生した施設数は72校あり、回答のあった施設の半数以上で訓練災害が発生していた。また、安全衛生活動における使用教材を調査したところ、多くの都道府県立校において教材を使用していないことも明らかになった。

職業訓練における有益な安全教育用教材については、訓練災害の事例を題材にした問題発見ができる動画教材の要望が多かった。この調査結果を踏まえ、開発する安全教育用教材は、訓練災害の事例を題材にした動画教材として、受講者のニーズやレベルに応じて段階的に危険感受性を高めるための3つの動画群で構成することとした。

シリーズⅠ「災害発生のメカニズム」では、安全の定義や災害発生のメカニズムを解説する動画群として、合計6本の動画教材を制作した。また、シリーズⅡ「災害事例の解説」では、機械系、電気・電子系、居住系の訓練科において発生した訓練災害の事例を解説する動画群として、合計3本の動画教材を制作した。シリーズⅢ「危険予知訓練の実践」では、訓練災害の事例を題材にしたKYT4ラウンド法の演習問題の動画群として、合計12本の動画教材を制作した。

試行検証では、都道府県立校5校及び機構施設6施設において実施し、本動画教材の有用性を検証した結果、試行した職員及び受講者ともに、概ね良い評価を得ることができた。特に、過去に発生した訓練災害を再現していることで受講者の安全意識が高まり、訓練災害の未然防止を期待できることから、「今後も活用したい」「もっと題材を増やして欲しい」等の肯定的な意見が多かった。

開発した安全教育用教材については、基盤センターHPで公開して全国の公共職業訓練施設で活用できるように整備し、基盤センターからの情報発信に取り組む予定である。この安全教育用教材が、職業訓練における効果的な安全教育の礎となり、広く活用されることを期待する。

